年間授業計画　新様式例

高等学校　令和５年度（１年次用）　教科　芸術　　科目　書道Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象年次組：第　1 年次　1 組～　5 組

教科担当者：　（12組：高梨）　（34組：櫻井）　（5組：櫻井）

使用教科書：　（ 光村図書　書Ⅰ　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】･･･(1)	【思考力、判断力、表現力等】･･･(2)	【学びに向かう力、人間性等】･･･(3)
書の表現の方法や形式，多様性などについて幅広く理解するとともに，書写能力の向上を図り，書の伝統に基づき，効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			漢仮	漢	仮						
1学期	A単元　文字の造形を学ぶ　楷書 (1)・楷書古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。 (2)・楷書古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 ・楷書古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 (3)幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	漢字の書に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ○ 知識や技能を得たり生かしたりしながら構想し工夫すること。 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆，字形，全体の構成 ・意図に基づいた表現 ○ 次の２点について理解すること。 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり ・書体や書風と用筆・運筆との関わり ○ 次の２点の技能を身に付けること。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆 ・古典の線質，字形や構成を生かした表現		○		○	(1)●知識［表現］楷書古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ［鑑賞］線質、字形、構成等の要素と表現効果、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ●技能　楷書古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 (2)［表現］楷書古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ［鑑賞］楷書古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 (3)［表現］主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ［鑑賞］主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	26
2学期	B単元　文字の造形を学ぶ　行書・草書・隷書・篆書 1)・行書・草書・隷書・篆書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解する。 ・行書・草書・隷書・篆書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 2)・草書・隷書・篆書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 ・行書・草書・隷書・篆書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 3)・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	漢字の書に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ○ 知識や技能を得たり生かしたりしながら構想し工夫すること。 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆，字形，全体の構成 ・意図に基づいた表現 ○ 次の点について理解すること。 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり ・書体や書風と用筆・運筆との関わり ○ 次の技能を身に付けること。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆 ・古典の線質，字形や構成を生かした表現		○		○	(1)●知識［表現］行書・草書・隷書・篆書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりを理解している。 ［鑑賞］線質、字形、構成等の要素と表現効果、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解している。 ●技能　行書・草書・隷書・篆書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 (2)［表現］草書・隷書・篆書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ［鑑賞］草書・隷書・篆書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 (3)［表現］主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ［鑑賞］主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	C単元　文字の造形を学ぶ　仮名 1)・線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解する。 ・仮名古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につける。 2)・仮名古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 ・仮名古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 3)・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	仮名の書に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ○知識や技能を得たり生かしたりしながら構想し工夫すること。 ・古典の書風に即した用筆・運筆，字形，全体の構成 ・意図に基づいた表現 ○次の点について理解すること。 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり ・線質や書風と用筆・運筆との関わり ○次の技能を身に付けること。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆 ・連綿と単体，線質や字形を生かした表現			○	○	(1)●知識［表現］線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ［鑑賞］線質、字形、構成等の要素と表現効果、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 ●技能　仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につけている。 (2)［表現］仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ［鑑賞］仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 (3)［表現］主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ［鑑賞］主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	14
3学期	D単元　創作する 1)・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じり文の成立について理解する。 ・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につける。 2)・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫する。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 3)・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	漢字仮名交じりの書に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ○知識や技能を得たり生かしたりしながら構想し工夫すること。 ・漢字と仮名の調和した字形，文字の大きさ，全体の構成 ・目的や用途に即した表現形式，意図に基づいた表現 ・名筆を生かした表現や現代に生きる表現 ○次の点について理解すること。 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり ・名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わり ○次の技能を身に付けること。 ・目的や用途に即した効果的な表現 ・漢字と仮名の調和した線質による表現	○			○	(1)●知識［表現］用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ［鑑賞］線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じり文の成立について理解している。 ●技能　目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。 (2)［表現］漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 ［鑑賞］創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 (3)［表現］主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ［鑑賞］主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	16 合計 70